

# 公民館だより

53.11 由良館  
由公

## ◎ 社会づくりと心のつながり ◎

由良公民館長 藤本 秀雄

今の社会の人々の生活態度をみると、次のように分けられるのではないかと思われる。

- ・税金を払っているのだから何でも役所がやればよい。
- ・マイホーム主義が強くて、物事を共同してやれない。
- ・一部の特定の人に支配してもらつて。
- ・自主的に、しかも共通の利益のためと共同してやる。
- ・そこで我々は勿論最後の項に向つて、自主的にしかも連帯性をもつような人間となるのが大切である。
- ・住みよい社会にするために、自分たちでできることは自分たちでやり、どうしてもできないことは行政に要求するという考えと、実践力を持ちたい。

現代社会は経済成長、技術革新、消費革命等々で急激な社会構造の変化をもたらす。物質的生活は豊かになり、そのため物中心になりすぎて、人間疎外、世代間の断絶等々の精神的生活面の貧困化が進み、心の問題がおそろかにさされていくと思う。今こそ心のつながりによって維持される社会づくりが大切であるのではないだろうか。

## ◎ 公民館所感 ◎

主筆 平間 克己

「秋は詩人の如しと言われる。読書の秋」「スポーツの秋」「味覚の秋」「天高く馬肥ゆる秋」 黄金の稲穂の刈り取りが終る頃から菊とみかんが、秋色を楽しませてくれるが、虫の音色に一段と晩秋の佇しさを感ずる。

「桐一葉落ちて天下の秋を知る」

元公民館長だった井土歳氏が六月廿八日逝去された。生者必滅の浮き世とは云え、もって生きて頂き、先生の御恩沢に浴したかった。

先生は医師として天職を全うされた立派な方だが、おやさしい心根がいつもにこやかに慈顔となつて多くの病人を勇気づけられた華等印象的であった。特に公民館には高価で貴重な備品を多く寄贈された。その遺品の一つ一つにも有りし日の先生の温顔が去来する。いつ迄も安らかにと御冥福を祈りたい。

公民館の行事も余す所はあと僅かになった。今夏の球技大会も去年の事故の教訓を生かし無事故で終つた。然し残念乍ら今年をもって止める行事も出た。

金踊は毎年八月十四日十五日の両日午後八時より午後十時迄幼稚園々庭で行っている。そのため文化部の幹事さんが八月十四日朝から舞台を組んだり提灯の準備等とする夜になると一時間前に会場に出て提灯に点灯、音楽を入れ、皆さんを待ちます。然るに二三年前来踊り子が集まらず

## ◎ 中央公民館の整備について ◎

昭和五十三年六月七日宮津市議会に於て宮津市由良出張所並に由良中央公民館が決定決議された。

六月十五日 宮津市企画課 市教育委員会より修理箇所調査

- 六月三十日 出張所と共に移致
- 七月一日 館長、主筆、備品整理
- 七月八日 志友会役員(十三名) 樹木伐採及掃除
- 七月十一日 志友会役員(十三名) 垣根の修理掃除
- 七月十六日 公民館(文化部七人体育部四人出張所より中西富志さん計十四名 館長主筆を含む) 池の掃除 垣の修理 残枝整理

右の外 館長主筆は眼をみて雨漏り箇所修理、垣の補強等に出る。尚主張所中西富志さんには市の業務の多忙の傍ら休暇時間、時間外に花と植えたり草の手入れ等美化工作をして頂き、お陰で今日では見違える程美しい風情となりました。その上、公民館利用の方々に對しても懇切に便宜を計って頂き多くの人々からも花がはれて、ますますその上池も手入れして美しく泉水としての風格が備わり、庭も一段と引き立ててくれました。また善意の寄贈として

- ・ 藤本館長より 美しい浮草を。
  - ・ 大森小夜子さんより 金魚を。
  - ・ 今井善興さん(市税務課)より 錦鯉と。
  - ・ 北野薫さん(公民館体育部長)より 錦鯉と。
- 以上

輪になつても少々で所謂「笛吹けど踊らず」の有様で折角の苦勞が裏手残念でした。金踊は祖先の供養から始つたが当時の武家政治の百姓生すべからず殺すべからずの搾取の抑圧政策の中で粗衣粗食に甘んじて耐え貫きながらその苦しさ衰しさを金踊りに託して為政者に訴えたのだと聞いています。哀調を帯びた永平踊りは私達に訴える如く哀しくも懐しい。祖先が残してくれた文化財だが、時代の流れに勝つず今年をもって中止と致します。

次に地乙大運動会の開催日の件です。過去には二年に一回説もありましたが今日ではむしろ毎年説が多い。最近になつて、どうせこの時期は忙しいのだから十月の秋日和の日曜日を送るのではとの声が出始めました。開催月のこともお考え願いたいと思ひます。

何と云つても今年のビックニュースは由良中央公民館の実現であった。向借り公民館から脱皮し名実共に由良地区待望の中央公民館の誕生は嬉しい。幸実待ち兼ねたばかり七月開館以来、利用者の延人員は十月廿一日現在で千人を突破した。中でも志友会の利用度は高い。中央公民館の中に憩の家もある事にもよるが余生に生甲斐を求められて楽しく会合して居られるのを見る毎に中央公民館が出来て良かったと思ふ。

ここに改めて実現に奔走して頂いた市当局並に由良自治連合会に厚くお礼申し上げます。今後は皆様の御協力によりより良い公民館として活用されるよう努力したいと思います。

◎ 公民館からお知らせ ◎

・公民館使用回数

七月 十三回 三〇〇人  
 八月 十三回 二六七人  
 九月 十六回 二六〇人  
 十月 十四回 一八八人  
 計 五十六回 一〇一五九人

・球技大会

ソフトボール 優勝 三部 準優勝 一部  
 野 球 優勝 二部 準優勝 三部

・地区大運動会

総 台 優勝 三部 準優勝 四部  
 四部対抗リレー 優勝 三部

◎ 井土家から供養として、式拾万円 ◎

元公民館長 井土巖氏がお逝去されましたがお遺族より供養として由良公民館に一金式拾万円のお祈りにあづかりました

使途については運営審議会にはかり 最も有意義にさせていただきます

ここに謹んで井土先生のお冥福をお祈りし お遺族に対して厚くお礼申し上げますと共に区民のみなさまにお報告申し上げます

◎ 史蹟めぐりを終えて ◎

公民館で昨年一回市内史蹟めぐりを実施したところ参加者も多く好評であったので本年も去る八月末 第二回の史蹟めぐりを行いました

このころみは、わたしたちの暮す丹後、古くは丹波国後に丹後の国は、大和の勢力と対抗する程にはやくから大陸とのかわりも深く文化的に開かれた地域であったと云われております

それだけに由良川流域から丹後半島一帯にかけて 縄文跡生、古墳時代の遺蹟、また飛鳥、平安と各々の時代の特色をもった史蹟や伝承も多く遺してきております

ところが、いま私たちの周囲をみますと、戦後三十餘年産業経済の進展と社会構造の大変革を機に、伝統的な生活様式や風俗習慣なども急変し、それによる生活のひずみと憂える声も日毎高まってきているようであります

このような時期、それそれの時代を生き、うけつがれてきた古くからの生きざまをたどることは、現在に生きるわたしたちの生活を見つめなおす糧になるのではといった趣旨により計画し立案された行事であります

このような意味から本年は私たちの生活と最も深いかわりをもつ由良川兩岸(大江町まで)の史蹟をめぐる計画をたて実施しました

◎ ろばこん便り ◎

八月二十六日 港公民館で開かれました 話し合いされた要点を記します

・交通関係

由良駅前自転車置場を作ってほしい  
 社会教育関係

ろばこんの後始末をきちんとしてほしい  
 ・公民館の運動会の時期と、九月は農繁期で困る 小学  
 校と一緒にしたう如何  
 点数にこだわりすぎないようにしたい

・盆おどり

今年の参加者が少かったようだが、学校でなく港の広場でしたら参加しやすい

・青少年の育成でマラソンの実施や声かけ運動と実行したら如何

・排水路の改善と圃場整備

排水路と排水路を分けてつくるべきだ  
 用水路の問題は圃場整備とあわせて考えるべきで、港地区だけでなく関係の地区全体で考えるべきだ

・由良川の護岸工事  
 水利工事だけでなく護岸工事もやってほしい

。。。史蹟めぐりコース。。。

行き 由良川右岸と

中山城趾(一色の出城)―建部山城趾(八田城一色居城)―久田美城趾(真下津民部大輔)―桑碕遺趾(縄文時代住居跡)―伊智布西神社(延喜五(九。五)創祀伝)―赤松義民の碑(享保年間一擡)―高川原遺跡(古墳時代後期住居跡)―望石山親音寺(和銅七(七一)創始伝)

返り 由良川左岸と  
 戦友の碑(真下飛泉)―豊受神社(元伊勢外宮)―皇太神社(元伊勢内宮)―大川神社―和江国分寺跡

この他にも由良と深いかわりをもつ史蹟など多くあるようですが、今回は日程との関係から前記のコースをめぐり、参加者も多く、本年も好評のうちに終了することができました

参加された方々のご協力ならびにこの計画実施にあたり心よくバスを提供して下さった汐波苑さんのご厚意を謝して反省とします

◎ 宮津市家庭婦人バレーボール大会に参加して ◎

藤本 貴美子

昨夜来の雨もまだ降りやまず雨の中私は はりきって今年も又、宮津市家庭婦人バレーボール大会に参加致しました今年で十四年連続出場です。ほろり年よっていつまでほろりけるんや」と笑う人もおられますが、お陰様で私は今まで大病する事もなく、健康で毎日とエンジンジョイ致しております。さて会場へ行ってみると二十三チームの参加で子供連れ又主人の応援が犬変にぎやかく盛大に開会されました。

昨年度は大変接戦で準決勝で栗田Bチームに惜敗致しましたが、今年もCゾーンに配属され私が由良チームの対戦相手は栗田Dチームと宮津西部チームでありました。オー試合栗田Dチーム、顔ぶれを見てまず大丈夫とあなずってかがった所、あはからんやなかなか手ごわい相手。それでもどうにか2対0で勝ちました。オニ試合、宮津西部チーム、これはちよつと慎重にしなくちゃと思つていた所、オーセット又対8と簡単に勝ち安心していた所、オニセットジュースに持ち込み一セットの勝ちもどこえやらニセットおめで敗れてしまひ、いよいよオニセット黄色い声をはりあげ、しっかり行こう、と票気ずけ頑張った結果セットカウント又対7で二勝する事が出来ました。しかしオニセットまで持ち込んだ為、決勝トーナメント進出は失格となり、吉津Bチームが出場する事になりました。

◎ 成人式に思う ◎

岸田 千里

毎年成人式が来る度に人々の口ぐちからもれ出てくる言葉が娘さんを持つた家では衣装作りに大変なやなあと、いつ挨拶なのですか、私の家でも娘ばかりで何時も悩みの種となり、とうとう未嫁も成人式を迎える年令となつてしまいました。あちらの家でも何十万円、こちらの家でも何十万円の衣装を作つたというのを聞く度に娘にも着せてやりたいと思つたのは世の常の母親として当然のことだろうと思ひます。ここ数年末、公民館、自治会、老友会、婦人会等が、くらしの合理化とさげんで来ているさなか、成人式だけは合理化も何のその目の覚める程の豪華な衣装となつてしまひ、この辺で少しでも「むだ」をはぶき暮しよ生活に切りかえて見てはいかかと思つて、ペンをとりました。ずつと以前さふり返つてみると、宮津まで行かず、各地区毎にお祝とされたさうですが、その時は華美にならず、普通の姿で皆さんが式に参列しやすい様な衣装だ、と云われています。それが宮津市一本になつてから、だんだんと華美になつてしまつて、今では衣装の展示会の如くにまでなつてゐることで、それを少しでも防ぐには宮津市一本にせず、又昔にもどつて各地区毎にお祝とされたら、気楽に大勢の方々、が式に参列出来、意義ある成人式が開催されるのではないかなあと私は思ひます。

「ぐやしいな、あるときあ、しといだらよか、た」技術は吉津より由良の方が上やな」と勝手にうぬぼれて後輩をひかせる思ひで退場致しました。

今年の一歩のハアニングは連続優勝の栗田Bチームが村中Aチームに惜敗したことで、栗田Bチームは今までの顔ぶれで殆んど四十文代の人達、又府中Aチームは長身の若手新人二人、これが勝利につながつたのだと思ひます。由良チームもだんだんと四十文代が増えつつあります。どうか若く人達毎週日曜日八時頃より新人を養成する意味で基礎から教えて頂く事になりましたので、友達をさそひあつて気楽に体育館の方へ来て下さい。

肩のこりしらず、いつも冗談をいひながらケタケタ笑いながら練習しております。婦人会員さんでなくても結構です。そして一生、健康で明るく生活をお互いにおくろつてはありませんか。

なお今年の出場選手は次の方々でした。ご声援ありがとうございます。

- |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 鶴子 | 幸子 | 巴子 | 子子 | 子子 | 子子 | 代  |
| 2  | 田美 | 貴美 | 愛照 | 三典 | 泰  | ひ春 |    |
| 3  | 中西 | 藤本 | 中西 | 吉田 | 小室 | 千坂 | 山下 |
| 4  | 川崎 | 藤本 | 中西 | 吉田 | 小室 | 千坂 | 山下 |
| 5  |    |    |    |    |    |    |    |
| 6  |    |    |    |    |    |    |    |
| 7  |    |    |    |    |    |    |    |
| 8  |    |    |    |    |    |    |    |
| 9  |    |    |    |    |    |    |    |
| 10 |    |    |    |    |    |    |    |
| 11 |    |    |    |    |    |    |    |

◎ 思ひ出 ◎

岩上 松太郎

私が小さい頃の由良は今から思つて全く静かな純朴な農村であったと思ひます。鉄道がついてからは風俗に都会風が入り込んで純朴さに影がさして来ました。その私の小さい頃の印象の深い思ひ出を記してみますので、今と比較してみても載りたいと思ひます。

(一)私が五才位の時のことだつたと思ひます。脇の西端の石田方は旅館を営んでいました。いなり屋と云つたと思ひます。家はきれいにしていたし、晩の照明用のランプも私の方などちがってほやがくくらんだもので、明るく豪華な感じのもので、何となくはなやいだ家でした。

そのいなり屋に都会の若い女の人が病氣療養らしく長いこと滞在してました。はでな浴衣の寝巻を着て、えん側へ持ち出した寝椅子に横になつたりしてました。今から思つて結核療養だつたのではないかと思ひます。

実に色の白いきれいな人だつた様に思ひます。村童の私は遠くからお姫様を見る様に、見る／＼見たいものです。

或日そのいなり屋からお客さんがチコンギを聞かせるかう聞きに、来いと近所へ報告があつて、老幼男女がぞろ／＼行きました。私もお婆さんにつれられて行きました。

どうやらあのきれいな女の人の親達が見舞に来たらしいのです。その人が娘を慰めるために持つて来たチコンギとついでに近所の人達にも聞かせようという事になつた。

たものらしいのです。大きなまき火のついたもので、何やら田舎を置ける徳川ハンパルをクルクル回して、田舎がまわりのけりともなうな者もあつたのです。おぼもつなつて、仰天をなました。人間が歌うのと同じもので、たうのですから。不思議で不思議でたまりません。た。あの小さい箱の中に人が隠れていてそこからうたうんだらうか。然しあんな小さい箱の中へ人がはいれる筈はない。お婆さんに「何でや」と問うたら「一枚板でうたうんじや」という返事です。然し、それではどうもわかつかないので又、しつこく聞くのですがお婆さんはうるさそうに同じ答しかしてくれませんでした。

それ以後にも驚ろいたことは沢山ありますが、こんなに驚ろいたことはありませんでした。  
 (二) 私の家では鶏を飼っていましたが、放し飼いでした。大きな鶏で小さな犬なら怖がらない位のものでした。昼間は家の近所で撒いてもらった餌を食べたり遊んだりして居て、晩は家へ帰って来ることになっていました。百メートル位離れた所へまで遊びに行っていたこともありました。その鶏のうち、めんどりが一羽居なくなりまして、かわいそうに狐にでも取られたのだらうと云ってしまいました。

それから何日位か経った或日のこと、そのめんどりが沢山のひよこをひまなく衣わせながら引率して家へ帰って来たのにはみんなびっくりしました。  
 早速、御みやの籠をひかせて囲いました。

◎ お断り (奇贈圖書について)

公民館だより 五十三年六月号において三夏下段 新刊書購入のお知らせの中で、  
 ・ 筑川(筑摩書房) 宮本 輝  
 わたしの渡世日記上下巻 高峰秀子  
 右の二巻は中西夏江氏の奇贈圖書でありましたが「御土調査」並に「由良折末の施設」と奇贈圖書と誤報致しました。幸と紙面を通じて公表し中西夏江氏にお詫を申し上げます。

◎ 文化祭の作品展についての

期日 十一月二十六日(日曜日)  
 場所 由良幼稚園  
 作品 書道 生花 絵画 写真 編物 盆裁  
 その他趣味の手芸品  
 申込み 十一月二日まで 館長 主宰 あて  
 作品搬入 十一月二十五日午後三時 幼稚園まで  
 多数の参加作品をご観望をお待ちします

そのめんどりは放し飼いであることと云い、こととして、ちよつと離れた所の木小屋の隅に卵を産んでおいて、それを自分で温めてひまこにかへしてつれて帰って来たのだったのです。

由良地区申し合わせ事項

- 仏事の簡素化
- 一 葬式 忌明け 初七日の行幸は葬式當日かぎりとする。
  - 二 食事は当日食べられる程度とする。
  - 三 焼物は砂糖二袋を限度とする。

見舞返し  
 一 見舞返しは自粛する。

時間厳守

- 一 会合の時刻におくれないうようにする。
- 二 欠席 遅刻は必ず事前に届け出る。
- 三 遅刻者にかまわず開会する。

以上

◎ 寄付

金三〇〇〇円(運動会) 舞鶴信用金庫  
 由良支店長 塩根 式保  
 金一〇〇〇円(四喜) 井野ノ枝 枝